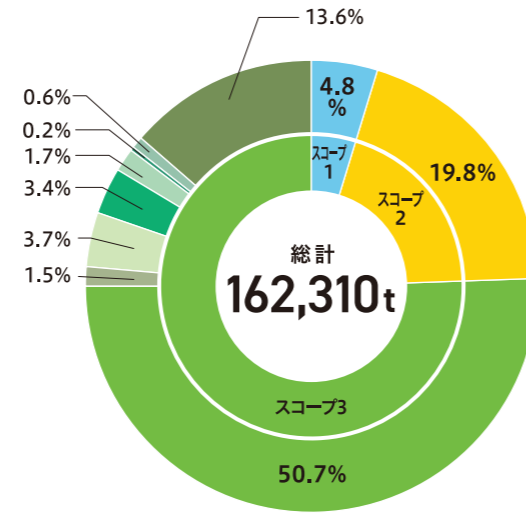


スコープ別CO₂排出量(単体+国内関係会社)

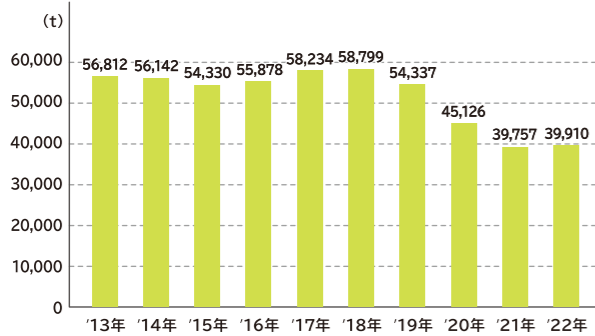
項目	CO ₂ (t)	割合
スコープ1	7,774	4.8%
スコープ2	32,206	19.8%
スコープ3	162,310	50.7%
カテゴリ1	82,203	50.7%
カテゴリ2	2,411	1.5%
カテゴリ3	6,071	3.7%
カテゴリ4	5,498	3.4%
カテゴリ5	2,766	1.7%
カテゴリ6	320	0.2%
カテゴリ7	1,001	0.6%
カテゴリ8	-	-
カテゴリ9	-	-
カテゴリ10	-	-
カテゴリ11	-	-
カテゴリ12	22,060	13.6%
カテゴリ13	-	-
カテゴリ14	-	-
カテゴリ15	-	-
スコープ1+2+3 総計	162,310	100%



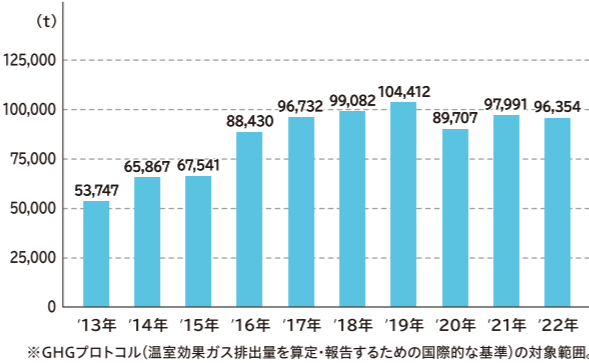
スコープ1+2 **24.6%**
スコープ3 **75.4%**

【スコープ3 算定の基準】
●カテゴリ1(購入資材除く):IDEAv.3.3 IPCC 2021-GWP 100a
●カテゴリ2~7、12:環境省 サプライチェーン排出量算定原単位DB (Ver.3.3)

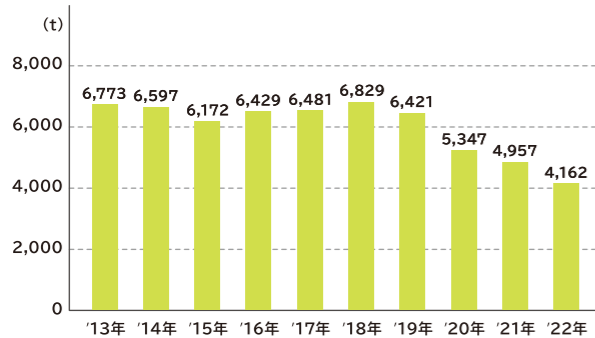
スコープ1+2 CO₂排出量推移(単体+国内関係会社)



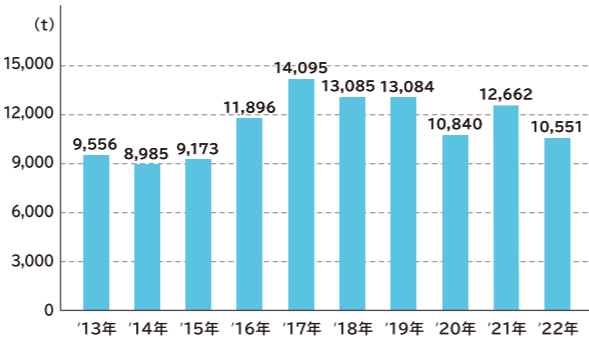
スコープ1+2 CO₂排出量推移(海外関係会社)



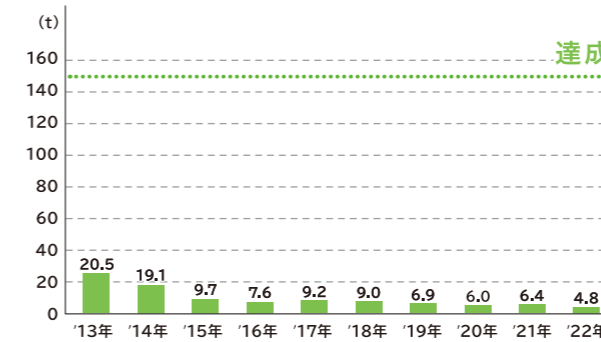
廃棄物量推移(単体+国内関係会社)



廃棄物量推移(海外関係会社)



揮発性有機化合物(VOC)排出量推移(単体)



日本ゴム工業会
VOC排出量削減目標 **152.6t未済**
(2000年度比50%以上削減)

●VOC17物質

アセトン、イソプロピルアルコール、キシレン、酢酸ブチル、酢酸エチル、シクロヘキサン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、トリクロロエタン、トルエン、n-ヘキサン、メチルアルコール、メチルイソブチルケトン、メチルエチルケトン、ゴム揮発油、その他の炭化水素(炭素、水素のみで構成されるもの)

ポリ塩化ビフェニル(PCB)含有機器の管理(特別管理産業廃棄物)

2027年3月末までに処分することが法律で定められているPCB含有機器の社外委託処理を進めてきた結果、2022年度までに計105台のPCB含有が懸念される機器類を特定し処分しました。未処理の低濃度廃棄物の処理を完了するまでの間は、PCB特別措置法に基づいて流出や土壌汚染がないよう適正な保管を行ってまいります。



区分	種類	累計処理台数
高濃度PCB廃棄物 (PCB濃度:5,000mg/kg超)	安定器・ 電力コンデンサなど	41台
低濃度PCB廃棄物 (PCB濃度:0.5~5,000mg/kg)	変圧器・ 電力コンデンサなど	64台

化学物質排出・移動量届出制度(PRTR)物質管理(単体)

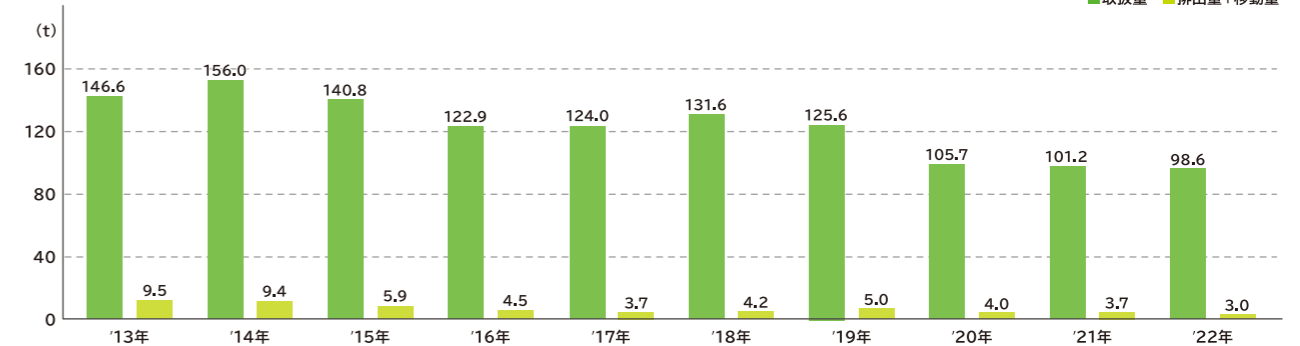
PRTR物質の移動・排出状況

〈単位:t/年〉

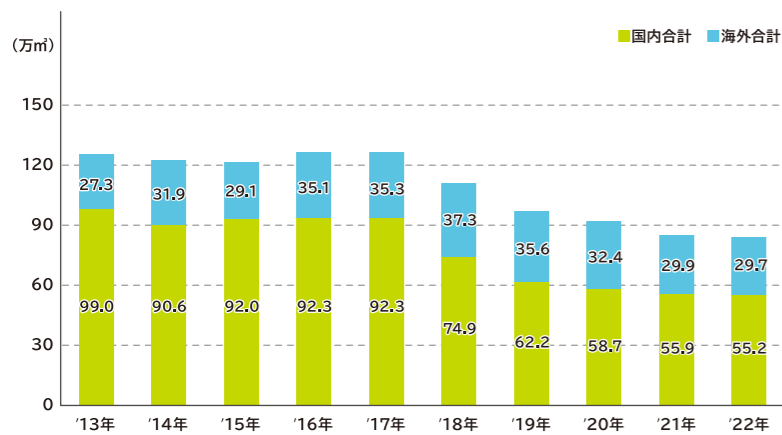
政令番号	CAS No.	指定化学物質	移動量(廃棄物)	排出量		
				大気	水質	土壌
42	96-45-7	2-イミダゾリジンチオン	1.1	-	-	-
268	137-26-8	テトラメチルチウラムジスルフィド	0.5	-	-	-
372	95-31-8	N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミン	0.1	-	-	-
452	149-30-4	2-メルカプトンベンゾチアゾール	1.3	-	-	-
438	1321-94-4	メチルナフタレン	-	0.02	-	-
合計			3.0	0.02	-	-

PRTR物質の取扱量・排出量+移動量

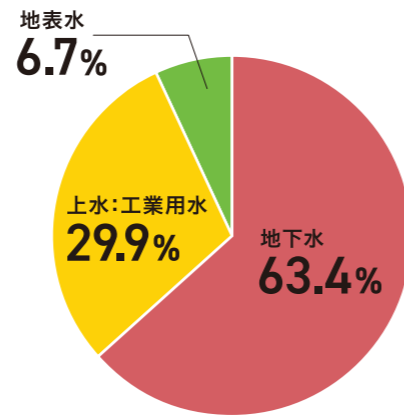
■取扱量 ■排出量+移動量



水使用量の推移(グループ全体)



2022年度取水種別 内訳



使用原材料の重量(単体+国内関係会社)

(単位:t/年)

区分	重量	CO ₂ 排出量	備考
i 使用した再生不能原材料	23,954	61,476	iiを除く調達原材料
ii 使用した再生可能原材料	729	2,122	樹脂コーナ材
iii 使用した再生不能副資材	5,544	15,243	その他購入部品類
合計	30,227	78,840	

西川ゴム工業株式会社 SDGs宣言

●環境に配慮したモノづくり

製造過程での省資源化・CO₂排出量削減等の環境負荷低減に取り組み、地球にやさしいシール製品づくりを推進するとともに、良品しかできない工程・工場を目指します。



●コア技術で探究する快適空間

環境に寄与する技術を積極的に用いて、形状・素材・工法・環境など多面的にシール&フォームエンジニアリングを深耕し、クルマや住宅の室内環境の快適・静寂・安心を実現します。



●地域社会との共生

国内および海外の事業所において、それぞれの地域の慣習・歴史・文化を尊重し、地域に根差したさまざまな活動を行うことで、豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。



●多様な人材が活躍できる安全・健康な職場づくり

“社員の安全・健康はすべての事業活動に優先する”を基本行動指針に掲げ、労使協働による働き方改革や健康経営の推進により、ダイバーシティとワークライフバランスの実現を目指します。

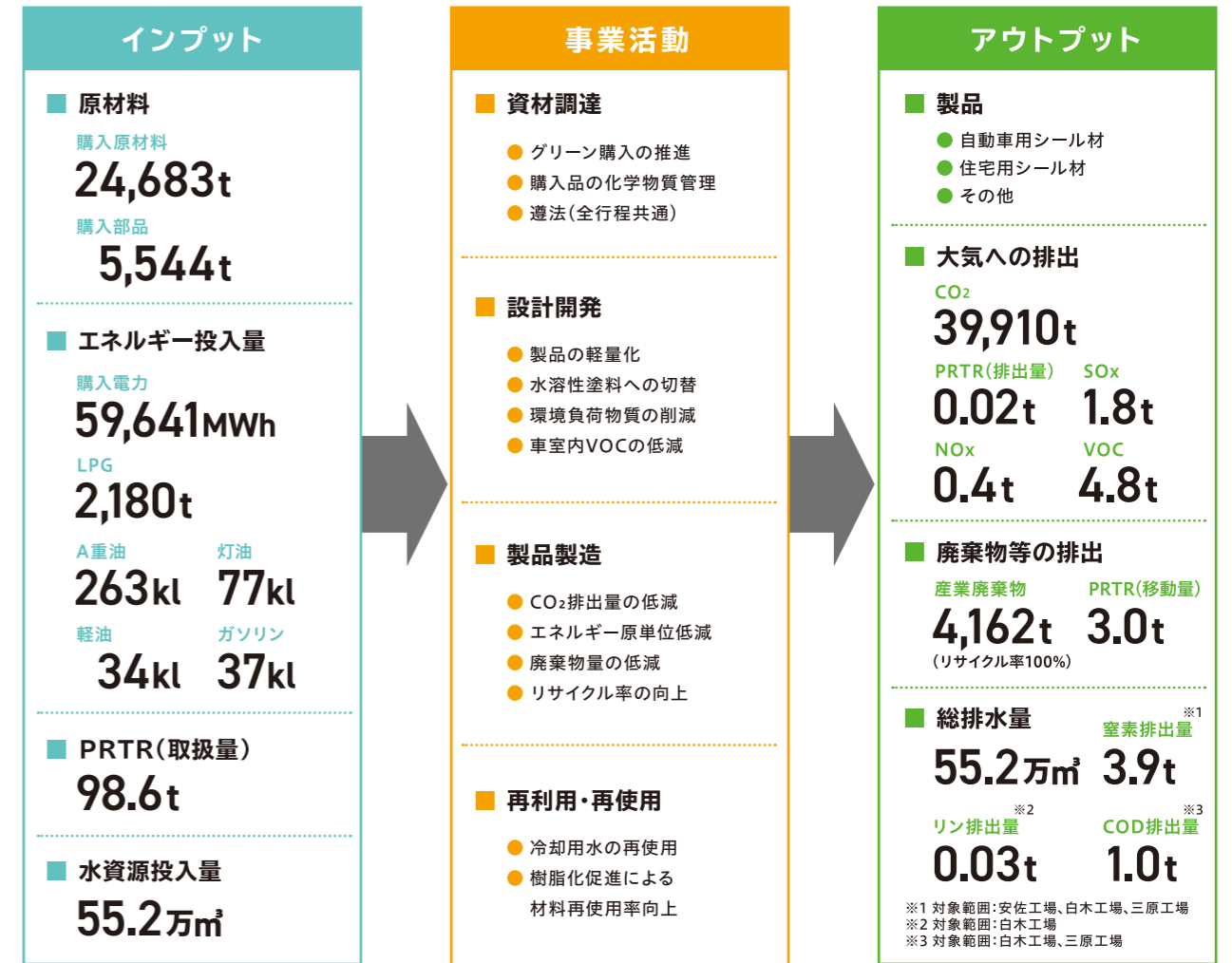


●公正な事業慣行

国内外の法令・社会規範および社内ルールを遵守し、高い倫理観に基づき、常に公正・公平な事業活動を行うことで、会社はもとより、社員一人ひとりが、社会から信用される企業市民を目指します。



マテリアルフロー(単体+国内関係会社)

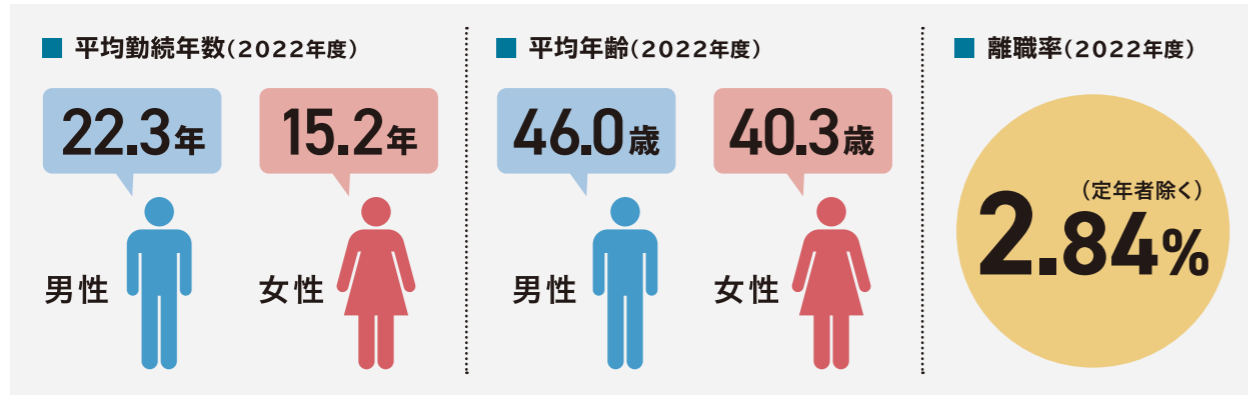


算出方法等

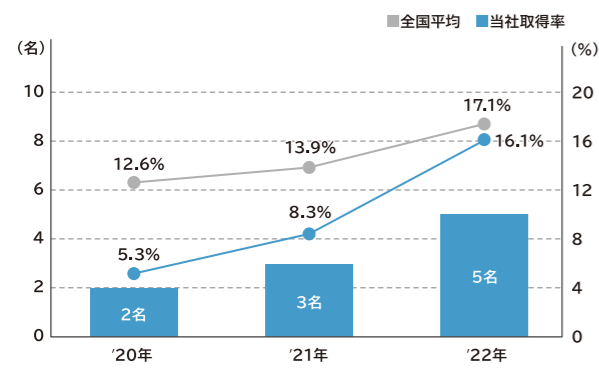
項目	算出方法
インプット	原材料: 購入した原材料・配合薬品類の量
	エネルギー投入量: 工場・事業所における、電力、油、ガスなどの消費量
	PRTR(取扱量): 工場・事業所における、PRTR法対象の化学物質を含有する原材料・薬品類の量
アウトプット	大気への排出: CO ₂ :工場・事業所における、エネルギー消費にともなうCO ₂ 排出量(エネルギー消費量×CO ₂ 換算係数) NOx、SOx:工場・事業所の排気口(ボイラーなど)から排出される、排ガス中の物質濃度を測定した結果に基づき算出 VOC:対象材料の使用量に基づき算出 PRTR対象物質排出量:ボイラー燃料(重油)の使用量から算出
	廃棄物等の排出: 対象の年度に、工場・事業所において、埋立処分、単純焼却、リサイクルとして搬出された産業廃棄物の量 PRTR対象物質移動量:PRTR対象物質を含む産業廃棄物量から算出
	総排水量: 当社の生産工程における水の使用用途は、設備や製品の冷却であり、水資源投入量と同じ値(蒸発量は測定できないため考慮していません)としています

※1 対象範囲: 安佐工場、白木工場、三原工場
 ※2 対象範囲: 白木工場
 ※3 対象範囲: 白木工場、三原工場

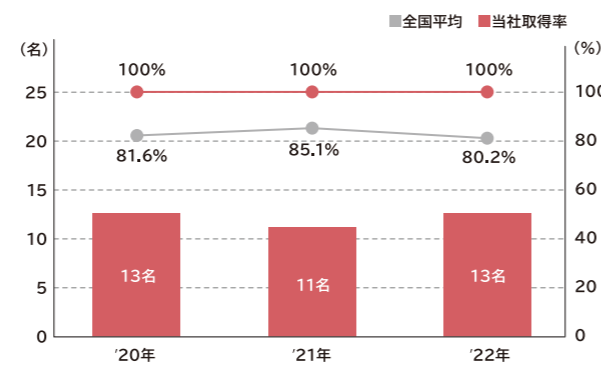
人事データ(単体)



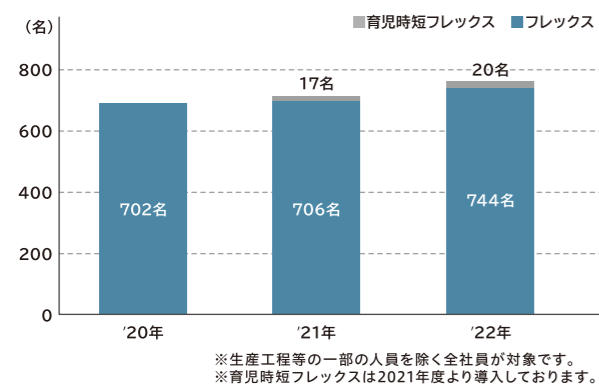
育児休業取得状況(男性)



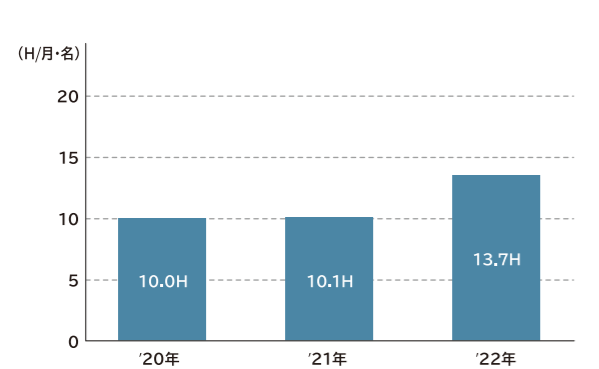
育児休業取得状況(女性)



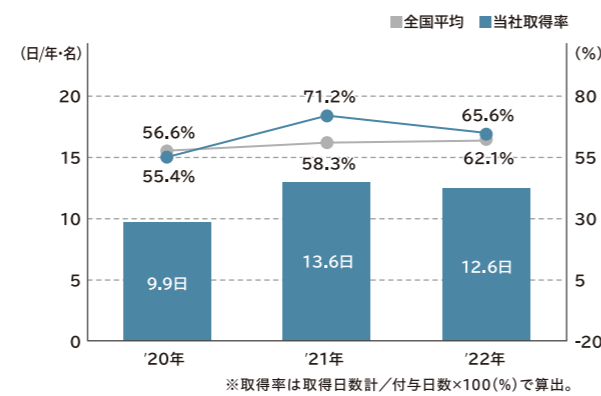
フレックス制度利用状況



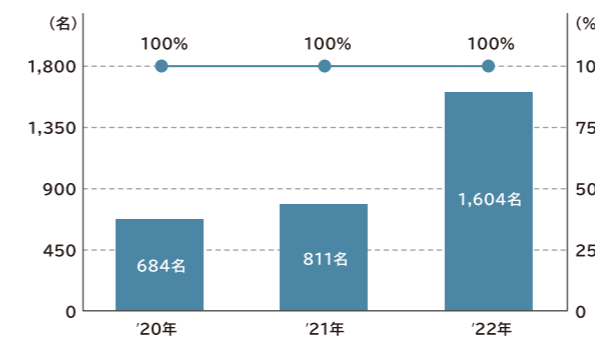
時間外労働状況



有給休暇取得状況

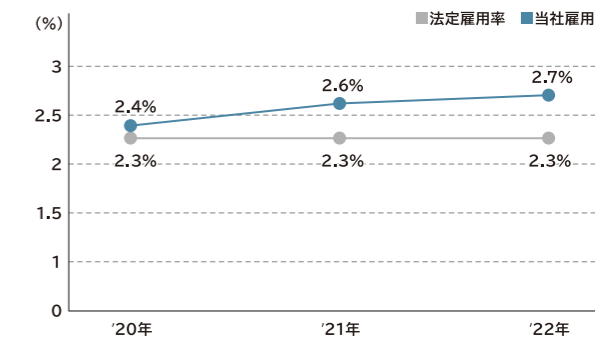


人権研修(ハラスメント研修)受講状況

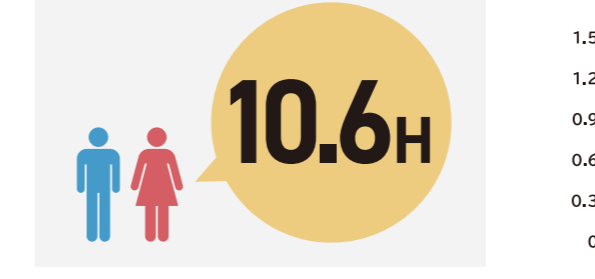


※2015年度からハラスメント研修を開始し、段階的に対象社員を増やしてまいりました。2022年度の研修は社員全員(短期雇用社員含む)を対象に実施し、受講率は100%となりました。

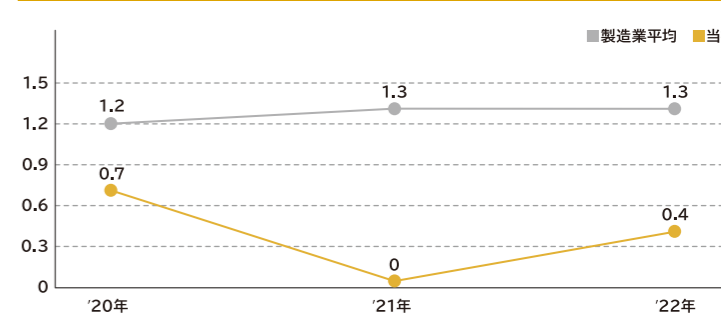
障がい者雇用率(単体)



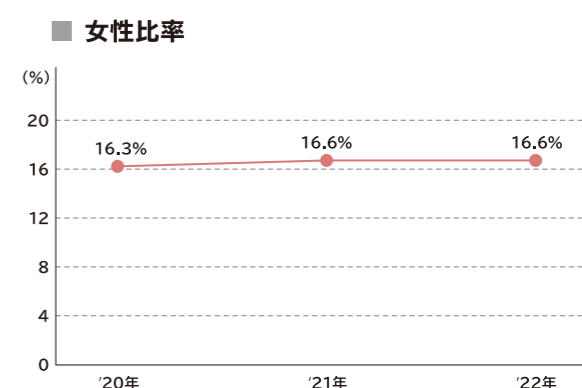
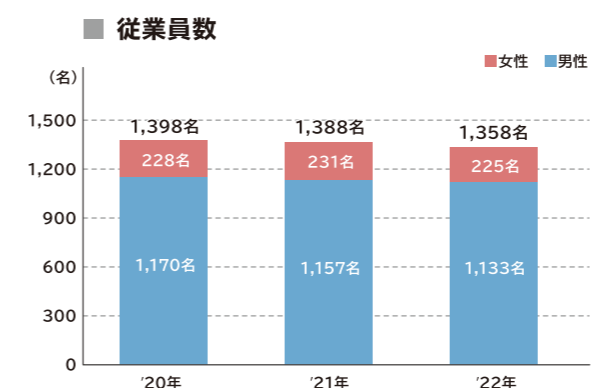
従業員1人当たりの平均研修時間(2022年度)



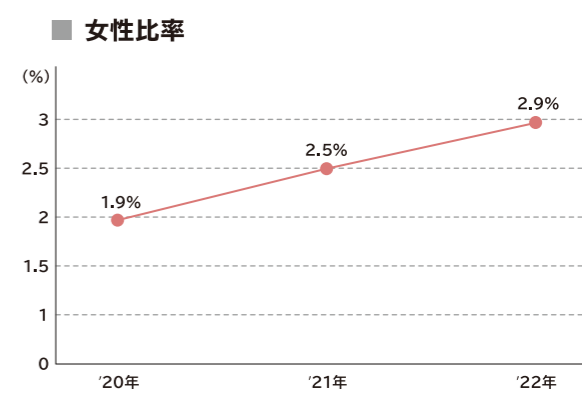
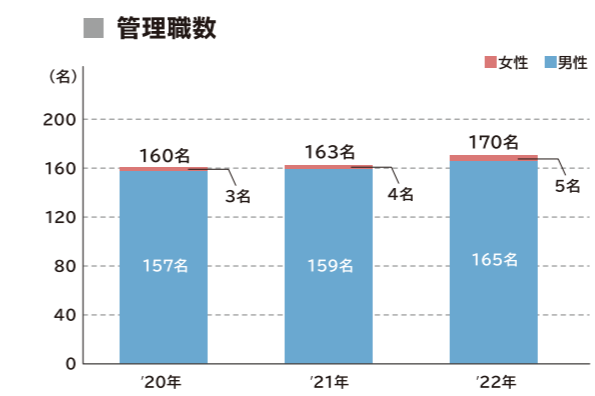
災害度数率(休業)



従業員割合



管理職割合



企業情報(2023年3月末現在)

会社概要

社名：西川ゴム工業株式会社
(NISHIKAWA RUBBER CO., LTD.)
所在地：〒733-8510
広島県広島市西区三篠町二丁目2番8号
創業：1934年12月
設立：1949年4月
資本金：33億6,448万円
従業員数：単体 1,358名 連結 6,515名

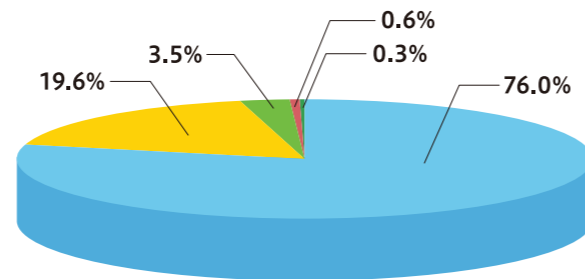


株主情報

業種：ゴム製品
上場取引所：東京証券取引所スタンダード市場
証券コード：5161
(決算期)：3月
上場年月日：1991年11月
株主数：3,638名
発行可能株式数：48,343,000株
発行済み株式の総数：19,211,920株
自己株式783,467株を除く
1単元の株式数：100株

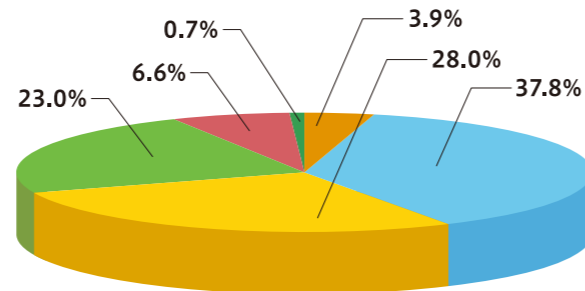
所有株数別株主数比率(1単元:100株)

■10単元未満 ■10単元以上100単元未満 ■100単元以上1,000単元未満
■1,000単元以上5,000単元未満 ■5,000単元以上



所有者別株式分布比率

■自己株式 ■個人・その他 ■その他の法人 ■金融機関 ■外国法人等 ■証券会社



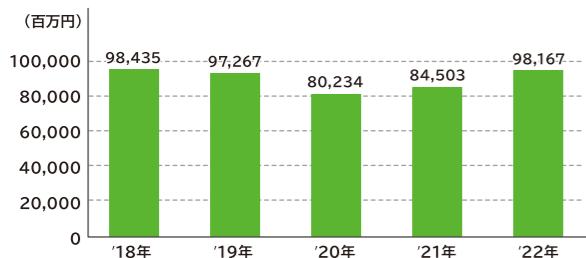
大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人西川記念財団	1,430	7.44
株式会社ハイレックスコーポレーション	1,241	6.46
西川ゴム工業取引先持株会	1,223	6.37
西川 正洋	1,096	5.71
株式会社広島銀行	957	4.98
三井住友信託銀行株式会社	626	3.26
西川 泰央	545	2.84
株式会社山口銀行	544	2.83
光通信株式会社	513	2.67
西川ゴム工業社員持株会	503	2.62

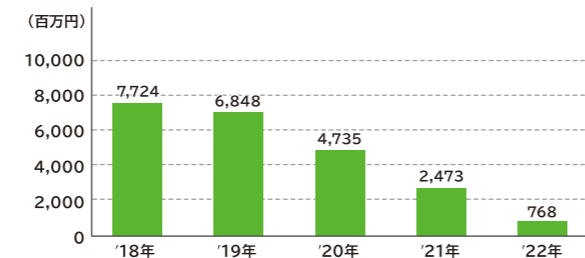
※千株未満は切り捨てて表示しております。※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

業績推移

売上高(連結)



営業利益(連結)



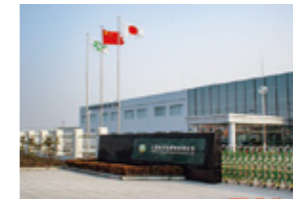
地域別売上高(2022年度)



グローバルネットワーク



NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. Europe Branch



上海西川密封件有限公司



NISHIKAWA COOPER LLC



国内拠点

本社：広島
営業拠点：栃木、神奈川、静岡、愛知、大阪、広島
生産拠点：広島(4工場)
関係会社：広島(4社)、山口(1社)

編集方針

本レポートは、株主様・投資家様をはじめとするステークホルダーの皆様へ、西川ゴムグループのCSR活動への理解を深めていただくことを目的に作成しました。当社の2022年度の業績の他、様々な取り組みをご説明しています。

●対象期間

2022年度
(2022年4月1日~2023年3月31日)
※一部対象期間外の活動も含まれます。

●報告対象組織

西川ゴム工業株式会社、連結子会社14社
および関連会社1社(うち持分法適用会社1社)

●免責事項

本報告書に掲載されている将来予測は、発行時点における情報に基づいて作成しています。今後、事業環境の変化などにより、記載する見通しとは大きく異なる場合があります。ステークホルダーの皆様には、あらかじめご了承くださいませよう願いたします。

●発行日

2023年12月(前回2022年12月、年1回発行)

【お問合せ先】

西川ゴム工業株式会社 総務部 TEL:082-237-9371 FAX:082-237-9361

参考にしたガイドライン/GRI「GRIスタンダード」